

<県> ○第3次岐阜県教育ビジョン
 * 地域社会人の育成
 * 清流スピリットを育む
 (自立力・共生力・自己実現力)
 <市> ○やまがた教育ビジョン 2020
 -義務教育9年間で目指す児童生徒像-
 * 違いを認め、それぞれが努力し、あたりまえに支え合える人
 * 自分の頭で考え、多様な人と協働し、新たな価値をデザインできる人

学校の教育目標
自ら学び やりぬく子

◆本年度 めざす学校像
 ○Well being につながる生きる力を育む学校
 ※Well being (幸福で充実した生活)
 心身ともに健康で社会がどのように変化しようとも仲間と共に未来を切り開く姿
 ○児童の成長を願い、主体的・協働的に動くことができる職員が育つ学校

<地域が学校に寄せる期待>
 * ふるさと山県市のよさを知り、ふるさとを愛する子どもを育てる
 * 社会の変化に対応できる力を育む
 * 自ら考え判断し、主体的に活動する子を育てる
 * 相手の気持ちを大切にし、仲間と共によりよい生活をつくる子を育てる
 * 健やかな体をつくり、自他の命を大切にできる子を育てる

確かな学力
 課題を自分のこととして受けとめ、仲間との対話を通じて、考えを深める

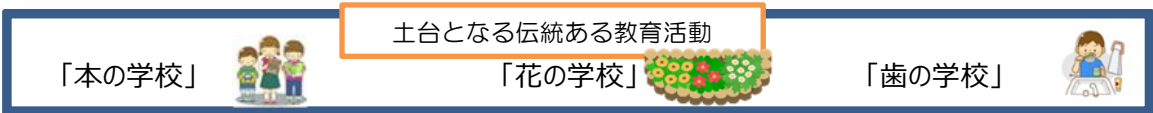
豊かな人間性
 自他のよさを認め合い、主体的に仲間との関わりを生み出す

健康・体力
 自分の命は自分で守る
 自分の健康は自分でつくる



確かな学びづくり (自学)	豊かな心づくり (自働)	健やかな体づくり (自鍛)
自分のこととして受けとめ、仲間と考えを深める	よさを認め合い、自分から働きかける	自分の命は自分で守る 自分の健康は自分でつくる
【今年度の重点】 <「主体的・対話的で深い学び」に向かう学習活動の工夫> ・学ぶ児童の視点に立った指導 ・ICTを活用した探究活動と交流活動の工夫 <基礎的・基本的な力の定着を促す指導の充実> ・「基礎の時間」等における個別指導の充実 <読書活動の推進> ・読書の習慣化と探究活動での図書の利用推進	【今年度の重点】 <よさを認め合い、仲間との主体的な関わりを生み出す集団づくり> ・異年齢集団活動の充実 <基本的な生活習慣の定着> ・家庭と連携した挨拶運動の工夫 <体験的・活動的学習の充実> ・生活科、総合的な学習の時間での体験活動の充実	【今年度の重点】 <健康教育の充実> ・歯と口腔の健康づくりを核とした健康教育の充実 <体力づくり> ・異年齢グループによる体力づくりの工夫 <危機回避能力の育成> ・KYTを取り入れた安全教育・防災教育の実施

<学校の教育目標を具現するための特色ある取組>
 ◇やまがた教育ビジョン 2020「異年齢学習の実践」
 【学びの組立】○各学年1～2名で編成されたグループ（異学年学級）で特別活動や総合的な学習の時間、体育、道徳等授業の一部や掃除、休み時間のなかよし遊び等の教育活動を行う
 【目指すもの】コミュニケーション能力の向上・主体性、やりぬく力等の非認知能力の向上
 ◇健康づくり教育「ヘルスプロモーションスクールとしての実践」
 【目指すもの】幸福で充実した生活の素地となるヘルスプロモーション
 【学びの組立】○児童だけを対象とするのではなく、児童が学んだことを家庭へ伝え、それを地域にも広げていく健康教育



いじめを絶対に許さない学校風土づくり
 【未然防止】・「お話タイム（教育相談）」全児童対象（月1回）の実施 ・「心と体の元気調べ」を基にした生徒指導交流会の実施
 【適切な教育指導】・「いじめは人間として絶対に許されない」という意識の醸成 ・SOSを出すことのできる関係づくり
 【実効性ある指導体制の確立】・担任が一人で抱え込まないための定期的な校内いじめ対策委員会の実施
 【家庭・地域との連携】・保護者等からの情報には、謙虚に耳を傾け、誠意が伝わる対応

<教育活動の根幹となる学級>
 ・学び合いのできる学級
 ・思いやりのある学級
 ・いじめを許さない学級
 ・自分の思いが言える（響く）学級

<配慮を要する児童への支援>
 ・特別支援教育の充実（さくら学級の開設）
 ・児童一人一人と向き合う時間の確保
 ・保護者と共に教育的ニーズの把握
 ・教職員間で情報共有
 ・SC等外部専門家との連携・協働

<教育活動の根幹となる心身ともに健康な職員集団>
 ・児童の挑戦を後押しする教職員
 ・全児童にかかわる教職員
 ・主体的で互いに助け合う教職員
 ・管理職との定期的な面談・日常的な相談

☆開かれた学校づくり ・寄せられる意見に対する誠意を持った対応 ・学校運営協議会等での地域の声の反映
 ・学校だより等の発行やHPによる積極的な情報発信 ・学校アンケートの実施